

寺小屋（その3）

寺小屋が盛んに開かれたのは幕末から明治にかけてで、幕府の諸法度や高札、また日常生活面でも文書についての理解と学習がどうしても必要となったからです。都市部では中層以上の武士や町人が、農漁村では村方三役（庄屋等）僧侶、神官などが、教師として教場（寺小屋）を開きました。通う子どもも7、8才から12、13才で朝8時から3時頃まで、主として手習いや読書、とくに女子には裁縫や茶花等を教える所もありました。

ところでこの寺小屋をテーマに取上げた発端は、私の父がここで学んだからです。父は明治20年の生まれ、もちろん学校が無かったので、前述（その1）の観音寺の寺小屋に通ったようです。その大河原先生が偉大だったのでしょうか、卒業生27名が大正末期5円、10円の基金を出しこの碑を建てました。その中に父の名前があり、日本閣の創業者や、まちの発展に尽力した幾人かの名前を見つけ感激しました。

「参考資料」日本風俗史事典、中野区史  
国史大事典、NHK江戸事情、  
武蔵野における中野の風土と人々



大河原先生の墓碑（観音寺）



寺町（その1）

『戸山ヶ原』から『寺小屋』へとこの地区周辺の場所を紹介しましたが、今回から早稲田通りに面して軒を連ねる『寺町』を紹介します。

中野区仏教連合会の資料によると中野区内には49の寺院があり、その中の10の寺が通りに面して建っています。



現在の早稲田通り沿いの寺院

区内にはそれぞれ長い歴史をもち、古くは縁を結び今日に至る寺もあります。

しかしこの10の寺は、明治の末ごろ東京の都市化が進み、市府の条例に基づいて旧区部（山手線の内側）からここに移動してきました。

10の寺は次のとおりです。

- |      |      |        |
|------|------|--------|
| (寺名) | (宗派) | (宗祖)   |
| 正見寺  | 浄土真宗 | 親鸞聖人   |
| 青原寺  | 曹洞宗  | 永平道元禅師 |
| 源通寺  | 浄土真宗 | 親鸞聖人   |
| 高德寺  | 浄土真宗 | 親鸞聖人   |
| 龍興寺  | 臨済宗  | 無相大師   |
| 松源寺  | 臨済宗  | 無相大師   |
| 宗清寺  | 曹洞宗  | 道元禅師   |
| 天徳院  | 曹洞宗  | 永陽大師   |
| 保善寺  | 曹洞宗  | 永平道元禅師 |
| 龍昌寺  | 曹洞宗  | 永平道元禅師 |

これらの寺は西暦1200年から1600年位に開山し今日に至りました。